

五 稜 郭R.C. 村井 那夫君 他4名

◎ゲスト 渥美 哲司君

◎会長報告

ラ・サールIC及び市内5R.C. をホストとした、地区インターアクト年次大会が10月13日、道南青年の家で開催されました。

7分科会による討議、パリー外国宣教会司祭ア・グロッド神父による「仏人から見た日本の若者、期待と忠告」と題する記念講演があり「より高きを求めて」の大会テーマの通り内容の充実した大会であった。

森松ガバナー・地区インターアクト委員長および地区各R.C.の会員が参加され盛会であった。当クラブより広瀬青少年担当委員長が副アドバイザーとして、遠藤・外山会員および関係者が出席され大会に協力されたが、これらの諸氏に対し深甚なる謝意を表します。

次に、オーストラリアの研究グループの交換チームの1人であるウィリアム・チャップマン氏より、彼が推薦を受けた。オーストラリア第265地区ウォルゲットR.C.のパナーが届けられたので回覧に供します。尚、同R.C.に対し同氏に依頼して当クラブのパナーを差上げました。

★クリーニング業から見たオシャレと清潔 小松 剛会員

本人の経営するクリーニング業より見たオシャレと清潔の社会について「不潔なオシャレ、クリーニングして見ると泥水の出る洋服 シミの取れない肌着 清潔そのものこそ立派な身だしなみで有り、隠されたオシャレだと説く、小松会員のユーモラスなお話でした。

◎出席報告 (10月9日)

会 員 数	51 名	出 席 率	函 館 北 (10 / 9)	94.12%
出 席	25 名		函 館 亀 田 (9 / 30)	68.57%
欠 席	26 名		函 館 東 (10 / 1)	98.91%
他クラブ出席	23 名		函 館 (10 / 3)	87.50%
出席合計	48 名		五 稜 郭 (10 / 4)	100%
出席除外者	0 名			

次回例会日 10月30日

プログラム 「未 定」



第351地区

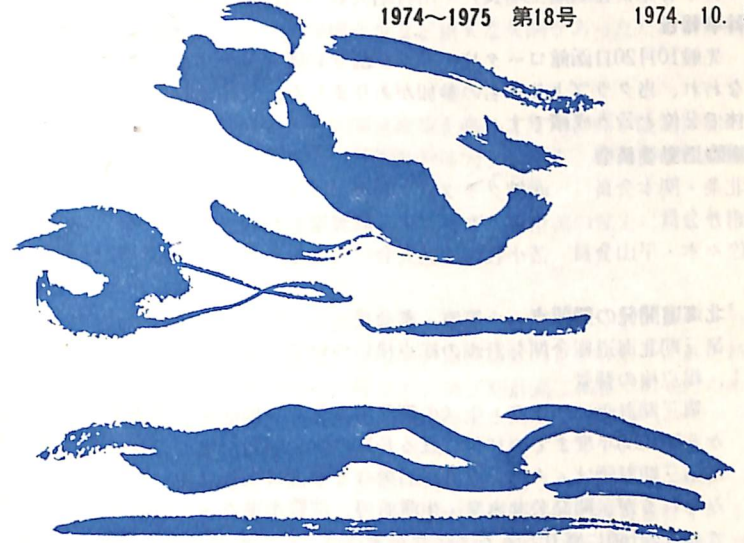
# 函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第522回例会

1974~1975 第18号 1974. 10. 30

「Renew the Spirit of Rotary」  
「ロータリーの精神を振るい起こせ。」  
(William R. Robbins R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30 例会場 国際ホテル  
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 (0138) 23-3870

本日のプログラム

「高田屋 嘉兵衛について」  
深瀬 鴻一郎会員

第 521 回例会記録

◎司 会 青柳 喜一会長

◎斉 唱 それでこそロータリー

◎ビジター 札幌南R.C. 妻谷 正二君

函 館R.C. 清水 清武君 他3名

函 館 東R.C. 原 裕君 他9名

五 稜 郭R.C. 浜野 達夫君 他3名



## ◎会長報告

悲しいニュースがございます。それは、当会の山内一雄会員の奥様が亡くなられました。つつしんで弔意を表します。

ガバナー月信第14信(6月30日付)のなかで各ロータリークラブを寸描すると云う事で当クラブが創立10周年記念に市体育館施設に30万円寄付。クリスマス家族会をとりやめて、市の福祉事業に20万円寄付したと云う事でとりあげております。うれしいニュースをお知らせします。それは今日2名の新しい会員を迎える事になりました。渥美哲治君(日本専売公社函館工場長)・川村昭夫君(川村組土建代表取締役)の両君です。

## ◎幹事報告

先般10月20日函館ロータリークラブ創立40周年記念ゴルフ大会が大沼コースに於て行なわれ、当クラブより10名の参加がありました。成績は松橋会員がバスマグロと1位。団体で2位と云う成績です。

## ◎親睦活動委員会

北条・関本会員 函館クラブ創立40周年ゴルフ大会に上位入賞  
吉井会員 ホームクラブを3回欠席したので  
佐々木・平山会員 苫小牧の地区大会に欠席したので

## ★北海道開発の問題点、小笠原 孝会員

第三期北海道総合開発計画の総点検について

### 1, 総点検の背景

第三期計画は、生産と生活の調和する豊かな地区社会の実現をめざした昭和46年度から昭和55年度までの10年に亘る長期の総合開発計画である。本年度で4年目を迎えた第三期計画は、人口・牛乳・石炭など一部の指標において相当おけているものもみられるが、開発公共事業・生産所得・消費水準などは計画で想定した方向で推移しており、計画に盛りこんだ主要な事業はほとんどが着手されている。しかしながら計画策定以来土地の乱開発、地価騰貴環境問題など経済社会情勢の変化が著しく、第三期計画を推進するうえで色々問題も出てきたので、昭和48年度から2カ年で総点検を行なうこととした。総点検は知事の諮問機関である北海道総合開発委員会(委員長=丹羽北大学長)が主体となって行なわれたが、このほどその中間報告がまとまり知事に意見の見申がなされた。

### 2, 総点検の内容

第三期計画の基本構想のもつ意義は現時点においても変わっていないが、今後の第三期計画の運用にあたっては環境問題・生活福祉問題・エネルギー・食料等資源問題など多くの今日的課題に対処した方策を導入するなど思いきった巾広い運用が必要であること、一方我が国は長期的には省資源型、福祉型の経済社会構造の実現を目指した新しい社会への移行が基本方向であり、また昭和60年を目標とした国土利用計画をはじめ、各種長期計画の策定の動きなどの情勢から、今後の本道総合開発を一層前進させ、道民生活の向上と産業の振興を図るため、道民の意向を十分取り入れた、より長期にわたる新しい計画の策定が必要であること、の2つの提言がなされており、知事としては道民生活の飛躍的向上をはかるためこの提言を尊重して新しい計画の策定に

積極的に取り組む考えである。

### 3, 道議会での論議

#### 社会党

高度成長を前提とした第三期計画は基本的に間違っている。第三期計画は大企業中心、環境破壊、経済効率中心であり、根本から反省すべきだ。第三期計画の理念に相違がないとするならば新計画をつくる理由がわからない。第三期計画が順調だとすれば新計画は必要ない。新計画の性格はどう云うものか。

#### 公明党

第三期計画は道民意向の反映や、環境保全など重大な欠陥があったため新計画の策定を打ち出さざるをえなかった。

#### 共産党

大企業奉仕の計画を止め、福祉・生活関連政策を盛りこんだ計画を住民参加のもとにつくるべきだ。第三期計画を引きついで新計画は大企業優先、超高度の経済政策でないか。

各党の論議は、いずれも第三期計画を批判しているが、新計画の策定に対しては基本的に反対していない。

### 4, 新しい開発計画の必要性

今後の本道総合開発を一層前進させ道民生活の飛躍的向上をはかるため、この際、道内外のより長期的な社会経済の展望に立って、道民の意向を十分取り入れた新しい開発計画を策定することが必要である。従って、第三期計画に欠陥があったため、新しい計画を策定するものでない。

### 5, 新計画と第三期計画との関連

(イ) 新計画は第三期計画の改訂ではなく別個の新しい計画である。

(ロ) 新計画が策定されるまでの間については、中間報告のなかで提言されている方策を積極的に取り入れていくなど、思い切った巾広い運用によって第三期計画の効果的推進をはかる。

(ハ) 新しい計画がスタートした段階で、第三期計画は新計画に発展的に移行するものである。

### 6, 新計画の内容等

#### (イ) 新計画の内容

新しい計画の構想や内容は、新たな長期的観点に立って検討されることになる。

#### (ロ) 道民意向の反映

中間報告では、計画の作成過程において、道民の意向を効果的にくみあげていくための望ましいルールの確立を図ることが肝要であると提言しており、この趣旨をふまえて道民意向を十分反映させて新しい計画を策定する。

#### (ハ) 大規模プロジェクトの位置づけ

第三期計画の主要なプロジェクトは、いずれも道民の生活福祉の向上、産業の振興を図るために必要なものであり、これらの構想は新しい計画に引き継ぐべきものとする。しかし、その場合各プロジェクトについて当然環境保全と道民意向の反映に十分配慮し対処すべきものとする。





第351地区

## 函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第523回例会

1974~1975 第19号 1974. 11. 6

“Renew the Spirit of Rotary”  
 “ロータリーの精神を振るい起こせ。”  
 (William R. Robbins R.I. 会長指針)



小砂子の岬

椎谷龍彦会員

下五郎

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル  
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

「たばこの話」

渥美会員-日本専売公社函館工場長

第522回例会記録

◎司会 青柳 喜一会長

◎斉唱 手に手つないで

◎ビジター 函館R.C. 棟方 忠君 他8名

函館東R.C. 岡田 清君 他6名

五稜郭R.C. 村井 邦夫君 他3名

## (二) 国土利用計画との関連

国土利用計画法にもとづく道の国土利用計画を新しい開発計画は、内容的に相互に密接な関連をもっており、斉合性を図っていくべきである。従って新しい開発計画のスタートする年度や計画期間についても国土利用計画と一致させることが望ましい。

## (ホ) 社会福祉長期計画等各種長期計画と新計画との関連

社会福祉長期計画等各種の個別長期計画は今后新しい開発計画の目標・構想が固った段階において更に検討を加える。

## (参考資料)

## 北海道開発法の改正

## (イ) 法改正の時期

開発法は、本道開発の推進上大きな役割を果たしてきた。しかし、最近の社会経済情勢や道民意識の変化を考えて法改正を検討したが、法改正をもち出すことは得策ではないと云う結論に達したと云う経緯もある。従って法改正についてはタイミングをみて高度な政治的な判断により解決をはかる必要がある。

## (ロ) 法と憲法との関連

開発法は、地方公共団体の権能等について特例を定めている法律ではなく、憲法第95条の住民投票の対象とはならない。

## ◎出席報告 (10月16日)

会員数	51名	出 席 率	函館北(10/16)	98.40%
出席	36名		函館亀田(10/7)	82.36%
欠席	15名		函館東(10/8)	98.91%
他クラブ出席	14名		函館(10/10)	休会
出席合計	50名		五稜郭(10/11)	100%
出席除外者	0名			

## ◎第521回例会欠席者 (10月23日)

深瀬・岩塚・広瀬・成田(勇)・森(富)・大嶋・大井・山内(一)・山内(文)・駒井・松本  
 戸栗・松橋・石橋・山矢・柴田 (16名 敬称略)

次回例会日 11月6日

プログラム 「未定」